

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成29年3月3日
学校名	福井大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	伊藤敏行

実施概要	実施活動名	児童生徒造形展
	実施日時	平成29年2月23日(木) 13:00 ~ 27日(月) 12:00
	実施場所	福井市地域交流プラザ(アオッサ5F) ギャラリー、会議室501
	実施目的	本校の児童生徒の作品を多くの人々に発信することで、特別支援教育の理解啓蒙につなげる。
	実施内容	児童生徒の造形展および高等部生徒の作品販売会
	実施方法	JR福井駅に隣接するアオッサ5Fのギャラリーをお借りして、児童生徒の絵画や造形物、習字、焼き物、織物等々を展示し、学校関係だけではなく、広く世間一般の多くの皆さんに子どもたちの自由な発想を観て感じてもらう。また、期間中25日(土)の1日のみだが、高等部の仕事で制作したレターセットやカバン、抹茶碗などの販売を行う。
参加人数	児童生徒 60名 保護者・家族約 100名 本校・大学関係職員 60名 一般 約 150名 計約 370名	

内容	<p>昨年度までは3年に1度の開催であったが、昨年JR福井駅に近隣するアオッサギャラリーで開催したところ、多くの方々から好意的な反響を得ることができ、今年度から連続して開催することにした。今年度も、昨年と同様、JR福井駅近隣のアオッサ内で開催ができたが、フロアが変わり、広いスペースで展示ができるようになった。</p> <p>児童生徒の作品は、今年度制作した絵画、版画、木工工作、粘土造形、書道、墨ながし絵、絵はがき、裁縫作品、織物作品、焼き物作品、紙刷り作品等々多岐にわたり、各学級からは様々なテーマの共同作品も展示した。これらの展示物の選定には、福井大学教育学部芸術科准教授の湊先生の御協力をいただいた。また、ポスターやフライヤーのデザイン・制作、展示会場のレイアウト、展示作業にも湊先生と美術科学生の協力を得ることができた。この大学との連携は今までの造形展でも行われている。</p> <p>昨年度の造形展のアンケートから、是非、生徒の作品を販売してほしいとの声が多数寄せられていたため、開催中の土曜日に限り、高等部生徒の作品販売会(虹の市)を行った。</p> <p>広報活動は、本校保護者、県内の特別支援学校全校と福井市、あわら市、坂井市の小中学校、福井大学附属学園(幼・小・中)の全園児、全児童生徒、本校児童生徒が関わっている県内各事業所、大学の広報課の協力をえて、フェイスブックでの広報活動を行った。</p>	
	結果	<p>期間中の来場者は、総勢約370名と昨年と比べて70名近く増加した。特に、一般来場者の数が増加しており、これは開催場所がJR福井駅近隣で、集客力のある建物内であったことに加え、昨年度と連続の開催で、知名度が多少なりとも上がってきたことが考えられる。これは、一般来場者からのアンケートにも書かれていた。会場の奥に、学生が自由に学習できるようなエリアが設置されていることもあり、夕方や土日には、記帳はしていなかったがかなりの数の学生が、展示会場を訪れていたと思われるので、実際の入場者は、500名以上いたのではないかと思われる。</p> <p>また、今年度から、高等部生徒の作品販売会(虹の市)を土曜日の1日のみ行ったが、大変好評であった。ただ、展示会場での販売は禁止されていたので、別の会議室での販売会となり、「販売会場がわかりにくい」や「販売日を増やしてほしい」などの要望がアンケートに記されていた。これらについては今後の課題として考えていきたい。</p>
	所感	<p>今年度も、予想以上の高い評価を得られた造形展になったと感じる。児童生徒たちの自由な発想が意外性を持って一般の方々に受け入れられている様子が、会場の雰囲気やアンケートの言葉からうかがいしれた。ただ、それらの後ろには、彼らの素直な感性を、引き出してくれている先生方の存在は、大変大きいものだと感じた。いずれにしても、本校の子どもたちの存在をしっかりと社会に伝えることができ、非常に有意義な時間を作り出すことができた。予算面で御援助いただいた全附連に心から感謝申し上げたい。</p> <p>会場面や予算面、人員の配置など、様々な課題が残ってはいるが、それらを改善しながら、この造形展を今後も続けていけるよう皆で考えていきたい。</p>



ポスターと会場の風景



添付書類



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成29年3月3日
学校名	福井大学教育学部附属特別支援学校
学年	小学部 中学部、高等部

小学部

- ・ 1組「はらぺこあおむし」
みんなで「はらぺこあおむし」を作りました。上手にできました。
- ・ 2組「2くみゆうえんち」
武生菊人形の遊園地を思い出しながら小さな「2組ゆうえんち」を作りました。遊園地では「ジェットコースターはスピードがあって、友達と滑り下りたのがどきどきしたけど楽しかったよ。」「カートに乗って友達と交代しながら引っ張ったり小さい子を迎えにいったりしたよ。」「大きな段ボールをつなげて道にして長い迷路を作ったのが楽しかったな。」と思いました。「2組ゆうえんち」はみんなの思い出で作りました。

中学部

- ・ ミシン掛けは初め少し不安だったけど、きれいに縫えたので自信を持って仕上げることができました。ハートのマスコットは、フェルトの色や糸の色を工夫しながら、細かいブランケットステッチもがんばりました。プレゼントする相手のことを考えながら、心をこめて作りました。みんなに見てもらえたのでうれしかったです。
- ・ わたしは三日月のマスコットを作りました。ブランケットステッチは、目がガタガタになり何回もやり直ししながら、がんばりました。ブランケットステッチの手順を覚え、自分で進めることができました。三日月が、だんだんバナナみたいになってきたのが面白かったです。他の人の作品も上手にできていたのですごいと思いました。

高等部

- ・ 造形の時間に作りました。色塗り楽しかったです。紅白のチョンマゲがおしゃれでしょ！線と点で遊びました。造形の時間に作りました。色塗り楽しかったです。紙と刷りの時間に作りました。パソコンを使って色の組み合わせを工夫しました。
- ・ 僕は、切り絵を作りました。干支のにわとりと春のホトトギスを作りました。造形展に出しました。カッターで集中して切り抜きました。これで紙と刷り班の仕事でランチョンマットもつくりました。買ってくれた人がいたのでうれしかったです。
- ・ きれいな色で織れました。きれいに織れてうれしかったです。（さをり織り）
- ・ 焼き物で抹茶茶碗を作りました。口の部分の削りが上手にできるようになりました。3年生になったら、新春茶会でお点前、頑張ります。
- ・ 白色のペンキ塗り頑張りました。
- ・ 学校祭のステージ発表に向けて一生懸命作ったものを造形展に出しました。うまく作品ができてうれしかったです。
- ・ スポンジボブをイメージしてクッションを作りました。おばあちゃんが「上手にできていたよ」といってくれてうれしかったです。

カンガルーシップ活動

理解プロジェクト参加感想

提出日 平成29年3月3日

学校名 福井大学教育学部附属特別支援学校

保護者の声

- ・子どもたちの作品をたくさんの人が見ている様子がとてもうれしく思いました。
- ・今年は大きな部屋に作品が飾られていて見るのが楽しかったです。
- ・附属のみんなの作品を全部見ることができすごいと思えました。
- ・一つ一つの作品に子どもたちの個性が表れていて、とても楽しかったです。子どもたちにとっても、作品をみんなに見てもらえることで作る意欲が高まるのではないのでしょうか。
- ・今までは3年に1回と聞いていましたが、去年、今年と続けての開催で喜んでます。子どもたちが自分を自由に表現できる場が広がるいい機会だと感じます。

来場者の声

- ・遊園地の発想がすばらしいと思えました。発想の原点になると思えます。子どもたちの自由な遊びの中に生きる喜びを見いだしました。
- ・全てがすばらしく感じました。特にそれぞれの学年学部のみinnで作り上げた合作物は見応えがあり感動する作品でした。毎年皆さんの作品を拝見するのを楽しみにしています。それぞれの個性が作品から溢れ出ていて、一つ一つ作品の前で立ち止まって対話させていただけるような、そんな気持ちで拝見させていただきました。毎回心が洗われるような幸せな時間をこの造形展でいただきます。ありがとうございました。
- ・私たちが忘れそうになる大切なこと、心の琴線に触れる物を作品を通してあらわしてくださる生徒の皆さんに感謝するばかりです。この喜びが皆様に伝わればうれしく思います。
- ・老いる日々を狭くしていた自分に勇気をいただきました。日頃の先生方の事細かな時を見せてもらえるのが感謝です。時の流れに沿って生きながら、真実の人として素直に成長し、社会を穏やかに和める創造の完成を応援しています。
- ・満ちあふれる時間をいただきました。感動と感激で涙と汗になりました。本当にありがとうございました。
- ・それぞれの児童生徒の「顔」が思い浮かぶ作品ばかりでほほえましい。ありがとうございました。
- ・学校の友達と見に来ました。カレンダーや粘土の作品がすてきだと思えました。
- ・お一人お一人が楽しそうに作品を作られていつのが、目に浮かびました。すてきな「書家」がたくさん集まっているのですね。
- ・版画のカレンダー構図から作った人の個性が表れていると思えました。細かな部分までよく観察されていると感じる作品ばかりでした。